

第29回造血器腫瘍研究会プログラム

1. 期 日

1日目 / 2024年11月21日(木) 13時55分-19時00分

2日目 / 2024年11月22日(金) 9時00分-16時10分

2. 会 場

鶴岡市先端研究産業支援センター レクチャーホール(鶴岡サイエンスパーク内)
〒997-0052 山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246-2

3. 懇親会会場

日時 / 11月21日(木)19時00分-21時00分

会場/SHONAI HOTEL SUIDEN TERRASSE RESTAURANT MOON TERRASSE

4. 会費

参加費 3,000円 / 懇親会費 6,000円

世話人: 国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点 横山明彦

第29回造血器腫瘍研究会事務局:

国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点 がんメタボロミクス研究室

TEL: 0235-64-0980/FAX: 0235-64-0981

E-mail: info@ncc-tmc.co.jp

会場へのアクセス

主要な交通経路

●空路

・東京・羽田空港－(空路約 60 分)－庄内空港－(車約 20 分)－会場
※空港からは空港連絡バスをご利用になれます。**鶴岡行きに乗ってサイエンスパークで下車してください。駐車場を挟んでホテルスイデンテラスの反対側が会場です(地図参照)。駐車場を通り抜けて会場にアクセスできます。**

＜空港連絡バス＞

航空機ダイヤ		
便 名	羽田発	庄内着
ANA393便 東京発	7:15	8:15
ANA395便 東京発	10:35	11:35
ANA1071便 東京発	12:25	13:25
ANA397便 東京発	15:55	16:55
ANA399便 東京発	20:15	21:15

● 酒田ゆき (所要約40分)
● 鶴岡ゆき (所要約30分)

庄内空港発 →

※飛行機の到着時刻に合わせて出発します。
出発目安は、到着の10分後です。お客様が揃い次第となります。

庄内空港 ⇒ 酒田 ゆき運行経路

庄内空港 ⇒ 鶴岡 ゆき運行経路

★このバスは航空機が運休の場合、バスも運休となる場合があります。
★10/27のみ、ANA398便航空機ダイヤは異なりますが、バスのダイヤに変更はありません。

＜当日のバス運行に関するお問い合わせは＞
庄内交通㈱ ◎鶴岡営業所 0235-22-2608
◎酒田営業所 0234-33-7255

●電車

・東京駅－(上越新幹線約 120 分)－JR 新潟駅－(羽越本線約 100 分)－JR 鶴岡駅
－(車約 5 分)－会場
※鶴岡駅からはタクシーをご利用ください

●高速バス(鶴岡直行バス)

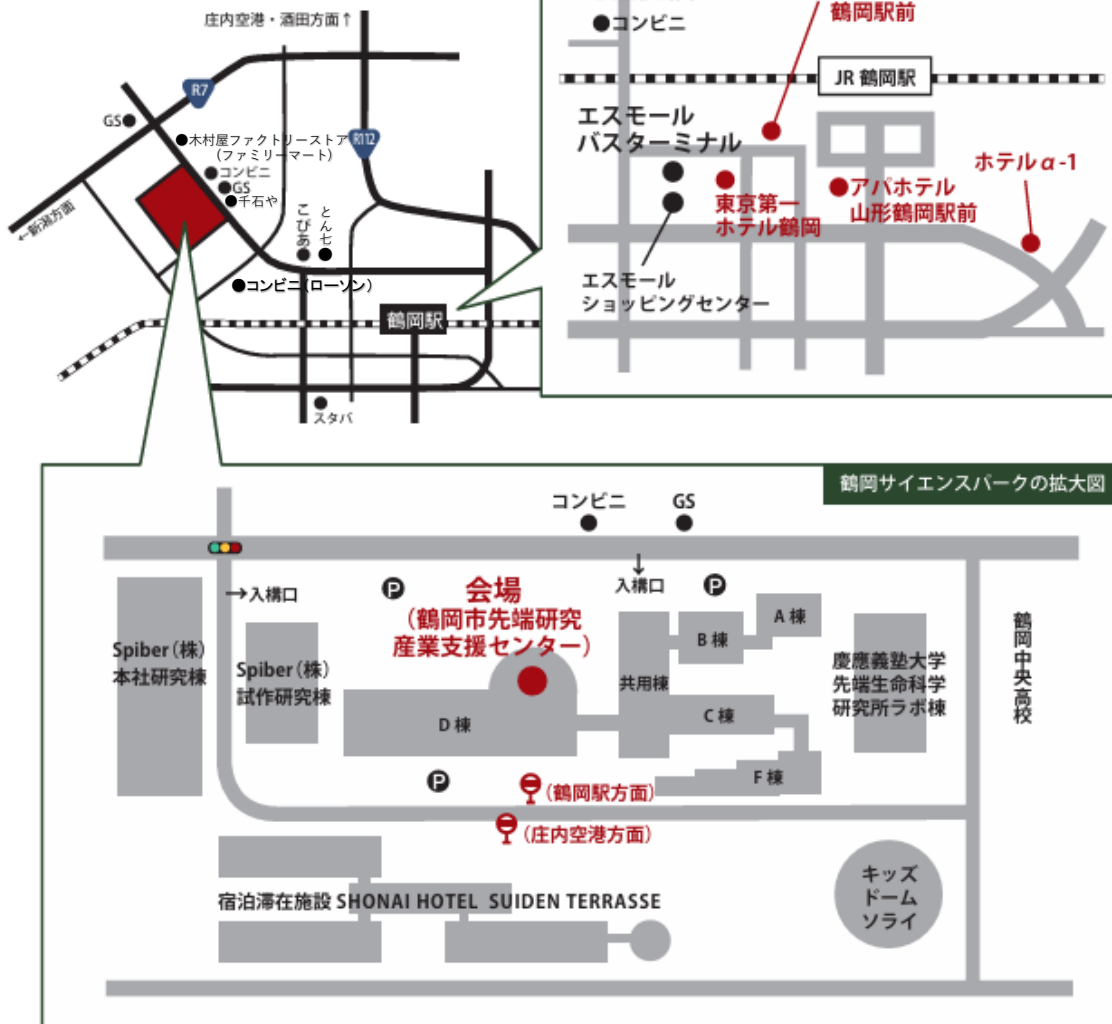
・東京－(約 7 時間)－鶴岡－(車約 5 分)－会場
・仙台－(約 2 時間 30 分)－鶴岡－(車約 5 分)－会場
・山形－(約 2 時間)－鶴岡－(車約 5 分)－会場
※エスモールバスターミナル・鶴岡駅からは、鶴岡駅前タクシー乗り場からのタクシー利用をお勧めします。徒歩だと約 17 分(1.2km)かかります。

●高速道路

東京－川口 JCT－(東北自動車道 約 4 時間)－村田 JCT－(山形自動車道 約 2 時間)
－鶴岡 IC－(約 10 分)－会場

■鶴岡サイエンスパークへのアクセス

- JR 鶴岡駅から車で5分
- 鶴岡ICから車で10分
- 庄内空港から車で20分



お食事処:

千石や: 最寄りのラーメン屋さん

とん七(徒歩5分): 庄内豚のトンカツ屋さん

木村屋ファクトリー: 鶴岡の有名なお菓子屋さん。店内で菓子・惣菜パンを買えます。コーヒー杯無料。

コンビニ:

ファミリーマートが道路を挟んで向かい側に一軒、ローソンが駅方面に少し歩いたところにあります。

スーパー:

「こびあ」という大型スーパーでお手頃価格のお弁当が買えます。

発表用 PC・変換コネクタについて

HDMI 端子に対応します。アダプターをご持参ください。

発表時間

発表時間12分、質疑3分(計15分)

Wi-Fi

Free WiFi あり

受付開始時間

11/21(木) 12:30～

11/22(金) 08:30～

会費のお支払い方法

参加費3,000円/懇親会費6,000円を
それぞれ別の封筒に入れて参加受付時に
お支払いをお願いいたします

世話人会

11/22(金) 11:45～ 場所:C 棟 1F 大会議室

プログラム

11/21(木)

- 13:55-14:00 開会の挨拶
- 14:00-14:45 午後① 15分×3人(3)
- 14:45-14:55 休憩 10分
- 14:55-15:40 午後② 15分×3人(6)
- 15:40-15:50 休憩 10分
- 15:50-16:35 午後③ 15分×3人(9)
- 16:35-16:45 休憩 10分
- 16:45-17:15 午後④ 15分×2人(11)
- 17:15-17:20 休憩 5分
- 17:20-17:50 レクチャー① 保仙先生 25+5分(12)
- 17:50-17:55 休憩 5分
- 17:55-18:30 NCC-TMC セミナー 川上先生 30+5分

- 19:00-21:00 懇親会 (スイデンテラス)

11/22(金)

- 09:00-09:45 午前① 15分×3人(15)
- 09:45-09:55 休憩 10分
- 09:55-10:40 午前② 15分×3人(18)
- 10:40-10:50 休憩 10分
- 10:50-11:35 午前③ 15分×3人(21)
- 11:35-11:45 Group photo
- 11:45-12:55 休憩 70分
- (11:45-12:40 世話人会@大会議室 C棟 1F)
- 12:55-13:40 午後① 15分×3人(24)
- 13:40-13:50 休憩 10分
- 13:50-14:35 午後② 15分×3人(27)
- 14:35-14:45 休憩 10分
- 14:45-15:15 午後③ 15分×2人(29)
- 15:15-15:20 休憩 5分
- 15:20-15:50 レクチャー② 前田先生 25+5分(30)
- 15:50-15:55 次期世話人の挨拶
- 15:55-16:00 閉会の挨拶

プログラム

【1日目】 11/21(木) 受付開始 12:30～

お弁当の方、レクチャーホール内で飲食可

■13:55-14:00 開会の挨拶(横山明彦)

■14:00-14:45 午後① 新技術1(座長:前田高宏)

1. scRNA-seq 解析から探る DDX41 変異造血器腫瘍の発症機序
松井啓隆(まつい ひろたか)^{1,2}、小泉みのり²、工藤麗²、網代将彦²、長町安希子³、
原田浩徳⁴、原田結花⁵、吉見昭秀²
(1 国立がん研究センター中央病院 臨床検査科、2 国立がん研究センター研究所 がん
RNA 研究分野、3 神戸先端医療研究センター、4 東京薬科大学 腫瘍医科学、5 東京都
立駒込病院 臨床検査科)
2. hareCLIP-seq によるスプライシング制御機構の非バイアスマルチオミクス解析
吉田 滢奈(よしだ みな)^{1,2}、網代将彦¹、河知 あすか¹、判澤 まゆ美¹、前之園 良一¹、
篠原 奈津子¹、佐久本 真梨夢¹、松井 啓隆¹、武藤 朋也¹、足達 俊吾³、笠井 倫志⁴、
岩間 厚志²、永江 玄太⁵、上田 宏生⁶、油谷 浩幸⁵、吉見 昭秀¹
(1 国立がん研究センター研究所 がん RNA 研究分野、2 東京大学医科学研究所 幹細胞
分子医学分野、3 国立がん研究センター研究所 プロテオーム解析部門、4 国立がん研
究センター研究所 先端バイオイメージング研究分野、5 東京大学先端研 ゲノムサイエ
ンス&メディシン分野、6 東京大学先端研 生命データサイエンス分野)
3. 一細胞解像度の空間ゲノミクスによる悪性リンパ腫の血管多様性の同定
清水夕貴(しみず ゆき)¹、安部佳亮^{2、3}、槇島健一³、須摩桜子³、末原泰人^{2、3}、
服部圭一郎^{2、3}、坂本竜弘^{2、3}、梶大介⁴、鈴木絢子⁵、白杵憲祐⁶、末永孝生⁷、大
田泰徳⁸、千葉滋²、鈴木穰⁵、坂田(柳元) 麻実子^{1、2、3、9}
(1 筑波大学 人間総合科学学術院 医学学位プログラム、2 筑波大学 医学医療系
血液内科、3 筑波大学付属病院 血液内科、4 虎の門病院 血液内科、5 東京大学大
学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻、6 NTT 東日本関東病院 血
液内科、7 亀田総合病院 血液・腫瘍内科、8 東京大学 医科学研究所付属病院 病
理診断科、9 筑波大学 トランスボーダー医学研究センター)

■14:45-14:55 休憩(10分)

■14:55-15:40 午後② 新技術 2(座長:吉見昭秀)

4. 次世代型 RNA/タンパク質搭載ベクターBC-PIV による感染症/がんの制御
野阪哲哉 (のさかてつや)¹, 大塚順平^{1,2}, 福村正之^{1,2}
(1 三重大学大学院医学系研究科 感染症制御医学・分子遺伝学, 2 バイオコモ株式会社)
5. CRISPR/Cas13 を用いた RNA-タンパク質相互作用解析ツールの開発と応用
山本圭太 (やまもと けいた)¹, 北村俊雄², 合山進¹
(1 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 先進分子腫瘍学分野 2 神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター)
6. 変異型 NPM1 を標的とした新規 CRM1 阻害剤の開発
岡正啓 (おか まさひろ)¹, 加藤明良², 笠原勇矢³, 赤塚美樹⁴, 小路弘行⁵, 幸谷愛¹
(1 大阪大学微生物病研究所 感染腫瘍制御分野, 2 大分大学医学部 臨床薬理学, 3 医薬基盤・健康・栄養研究所, 4 名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫学, 5 入交生命工学株式会社)

■15:40-15:50 休憩(10分)

■15:50-16:35 午後③ 造血 1(座長:平位秀世)

7. 胎生期造血システムの形成原理の解明
横溝智雅 (よこみぞ ともまさ) (東京女子医科大学 顕微解剖学・形態形成学)
8. HMGA1 による造血幹細胞の制御機構の解析
白潔¹, Supannika Sorin¹, 和田敦司¹, 指田吾郎 (さしだごろう)¹
(1 熊本大学 国際先端医学研究機構)
9. 骨髄不全をもたらす Samd9/9L 変異体の TGFbeta シグナル攪乱メカニズム
長町安希子 (ながまち あきこ)¹, 金井昭教², 松井啓隆³, 伊川友活⁴, 稲葉俊哉¹
(1 神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター, 2 東京大学, 3 国立がん研究センター, 4 東京理科大学)

■16:35-16:45 休憩(10分)

■16:45-17:15 午後④ レイトブレイキングアブストラクト (座長:野阪哲哉)

10. レドックス制御因子セレノプロテインが造血に果たす役割の包括的理解
山崎博未 (やまざき ひろみ)^{1,2}, 青山有美^{1,3}, 西村耕太郎^{1,2}, 野村真樹, 重廣司⁴,

臧維嘉^{1,3}、伊川友活⁴、高折晃史³、井上大地^{1,2} (1 神戸先端医療研究センター、2 大阪大学大学院医学系研究科 がん病理学、3 京都大学大学院医学研究科 血液・腫瘍内科学、4 東京理科大学生命医科学研究科免疫アレルギー部門)

11. DNA メチル化阻害剤 OR2100 は VAMP7 発現低下によるオートファジー抑制効果を示す

嬉野博志 (うれしの ひろし)¹、木村晋也^{1, 2}

(1 佐賀大学医学部 創薬科学講座、佐賀大学 血液腫瘍内科)

■17:15-17:20 休憩(5分)

■17:20-17:50 レクチャー① (座長:横山明彦)

12. 血液がんに対する新規 CAR-T 細胞の開発

保仙 直毅 (ほせん なおき) (大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学)

■17:50-17:55 休憩(5分)

■17:55-18:30 NCC-TMC セミナー (座長:横山明彦)

NCC-TMC セミナー (オープン レクチャー)

川上浩一 (かわかみ こういち) (国立遺伝学研究所 初期発生研究部門)

■19:00-21:00 懇親会

【2日目】 11/22(金) 受付開始 08:30～

■09:00-09:45 午前① 造血2 (座長:指田吾郎)

13. JAK2 変異による巨核球分化経路の変化が血小板機能の異常を引き起こす

植田航希 (うえだ こうき)¹、三浦里織^{1, 2}、池田和彦¹

(1 福島県立医科大学医学部 輸血・移植免疫学講座、2 福島県立医科大学保健科学部 臨床検査学科)

14. GATA2 遠位造血エンハンサーは好酸球・好塩基球・マスト細胞の系列決定に必要である

鈴木未来子 (すずき みきこ)^{1,2}、日高高德³、長沼杜羽子¹、佐藤佳歩¹、野本恵莉香

¹、中村華心¹、朱林傑¹、須藤桃由¹、大森慎也⁴、平野育生¹、勝岡史城^{2,3}、大根田絹子³、山本雅之³、清水律子^{1,2,3}（1 東北大学大学院医学系研究科 分子血液学、2 東北大学未来型医療創成センター、3 東北大学東北メディカル・メガバンク機構、4 高崎健康福祉大学薬学部）

15. CD135 陰性および陽性単球の分化制御機構

横田明日美（よこた あすみ）、赤石佳音、佐藤水萌、生駒優太、戎井理乃、齊藤空、鈴木楓乃、空谷優希、平位秀世
（東京薬科大学生命科学部 幹細胞制御学）

■09:45-09:55 休憩(10分)

■09:55-10:40 午前② メカニズム 1(座長:合山進)

16. CTCF は CALM-AF10 融合遺伝子が引き起こす白血病の維持に必要である

黒木瑤子(くろき ようこ)¹、山形和恒²、相川祐規子³、北林一生¹
（1 藤田医科大学 橋渡し研究シーズ探索センター、2 藤田医科大学 医学部 生化学講座、3 国立がん研究センター 造血器腫瘍研究分野）

17. ETV6 は EVI1 高発現 AML の白血病幹細胞維持に寄与する

日野俊哉（ひの としや）¹、正本庸介¹、森田剣¹、林田裕樹¹、黒川峰夫¹
（1 東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科）

18. NPM1 融合蛋白質による白血病発症メカニズムの解明

※発表は山本圭太先生

下里侑子（しもさと ゆうこ）^{1, 2, 3}、山本圭太¹、賈宇涵¹、柴徳生³、林泰秀⁴、伊藤秀一³、北村俊雄²、合山進¹

（1 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 メディカル情報生命専攻 先進分子腫瘍学分野 2 東京大学 医科学研究所 細胞療法分野 3 横浜市立大学 医学研究科 4 群馬県立小児医療センター 血液腫瘍科）

■10:40-10:50 休憩(10分)

■10:50-11:35 午前③ メカニズム 2(座長:井上大地)

19. Wilms 腫瘍関連性 ENL 変異体と MOZ/MORF 及び DOT1L による発がんメカニズム
小俣洋介（こまた ようすけ）¹、横山明彦¹

（1 国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点がんメタボロミクス研究室）

20. CblQ367P cooperates with loss of Tet2 to drive a CNL-like disease via the NF-κB

pathway

大橋卓馬(おおはし たくま)¹、國本博義¹、足立明子¹、三浦彩華¹、佐久間敬之¹、池田 順治¹、井野洋子²、添田浩美³、原田丈太郎³、下里 侑子⁴、山本圭太⁴、木村 弥生²、合山 進⁴、藤井 聡³、田村智彦⁵、本田浩章⁶、Sheng F. Cai⁷、中島秀明¹(1 横浜市立大学医学部 血液・免疫・感染症内科学教室、2 横浜市立大学医学部 先端医科学研究センター・プロテオームセンター、3 横浜市立大学医学部 病理学教室、4 東京大学 新領域創成科学研究所先進分子腫瘍学、5 横浜市立大学医学部 免疫学教室、6 東京女子医科大学医学部 実験動物研究所、7 Memorial Sloan Kettering Cancer Center Leukemia Service)

21. RUNX1::RUNX1T1 AML における ZBTB7A 変異獲得の生物学的意義

森川拓弥(もりかわ たくや)^{1,2}、仙波雄一郎¹、平林茂樹¹、宮田喜代子¹、宮崎眞佳¹、赤司浩一³、大里元美²、指田吾郎²、前田高宏¹

(1 九州大学大学院医学研究院プレジジョン医療学分野 2 熊本大学国際先端医学研究機構 3 九州大学大学院医学研究院病態修復内科)

■11:35-11:45 GROUP PHOTO

■11:45-12:55 休憩(70分) (レクチャーホール内で飲食可)

■11:45-12:30 会議室にて世話人会

■12:55-13:40 午後① メカニズム3(座長:松井啓隆)

22. MLL 転座陰性乳児白血病のメカニズム解析と治療展望

西村耕太郎(にしむら こうたろう)^{1,2}、磯部知弥^{3,4}、重廣司⁵、臧維嘉²、野村 真樹^{1,6}、小池優依²、山崎博未^{1,2}、伊藤裕美²、横山明彦⁷、滝田順子^{3,8}、伊川友活⁵、高木正稔⁹、井上大地^{1,2}

(1 大阪大学大学院医学系研究科 がん病理学、2 神戸先端医療研究センター、3 東京大学医学部附属病院小児科、4 Department of Hematology、Wellcome-MRC Cambridge Stem Cell Institute, University of Cambridge、5 東京理科大学生命医科学研究所免疫アレルギー部門、6 京都大学 iPS 細胞研究財団、7 国立がん研究センター鶴岡連携研究拠点がんメタボロミクス研究室、8 京都大学医学部附属病院小児科、9 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 医歯学系専攻 生体環境応答学講座 発生発達病態学分野)

23. タンパク質間相互作用を介した HOXA9 による白血病発症メカニズム

藤井智明(ふじい ともあき)¹、横山明彦¹

(1 国立がん研究センター 鶴岡連携研究拠点 がんメタボロミクス研究室)

24. TRIB1/COP1 の C/EBPa 蛋白質制御機構と AML における標的化

角南義孝 (すなみ よしたか)、中村卓郎

(東京医科大学医学総合研究所未来医療研究センター実験病理学部門)

■13:40-13:50 休憩(10分)

■13:50-14:35 午後② 病態(座長:坂田麻実子)

25. 遺伝子発現プロファイルによる ACIN1::NUTM1 陽性 ALL と KMT2A 転座陽性 ALL の類似性の解析

玉井望雅 (たまい みのり)^{1, 2, 3} 小松千亜紀^{2, 3} 加賀美恵子^{2, 3} 赤羽弘資^{2, 3} 犬飼岳史^{2, 3}

(1 東京大学医科学研究所 幹細胞分子医学分野、2 山梨大学小児科学講座、3 Global Leukemia Cell-line Assembly Network)

26. IL36g 産生好中球様単球(CiM)のがん悪液質病態形成における役割

上村 泰成 (かみむら やすしげ)¹、林嘉宏²、結城加奈子¹、小林大貴¹、原田結花³、原田浩徳¹

(1 東京薬科大学生命科学部 腫瘍医科学研究室 2 立命館大学薬学部 腫瘍病態制御学研究室 3 がん感染症センター都立駒込病院 臨床検査科)

27. ヒト内在性レトロウイルス K9 の再活性化は急性骨髄性白血病の予後良好因子である
柳谷 稜¹、中川 草²、鬼塚 真仁³、幸谷 愛¹

(1 大阪大学微生物病研究所 感染腫瘍制御分野、2 東海大学医学部 分子生命科学、3 東海大学医学部 血液腫瘍内科)

■14:35-14:45 休憩(10分)

■14:45-15:15 午後③ 治療(座長:幸谷愛)

28. Loss-of-function mutations of BCOR induce susceptibility to venetoclax

大森郁子 (おおもり いくこ)¹、西條栄子²、中戸隆一郎²、北村俊雄³、榎本豊¹

(1 東京大学薬学系研究科 分子腫瘍薬学、2 東京大学定量研 大規模生命情報解析研究分野、3 神戸医療産業都市推進機構 先端医療研究センター)

29. The induction of ferroptosis in adult T-cell leukemia/lymphoma (ATLL) by a novel anti-transferrin receptor¹ (TFR1) monoclonal antibody through ferritin degradation
Yanuar Rahmat Fauzi¹, Shingo Nakahata³, Kazuya Shimoda¹, Tadashi Matsuura², Shinji

Hagiwara², Kentaro Inoue¹, Hiroshi Moritake¹, Kazuhiro Morishita¹ (1 宮崎大学医学部、
2 ペルセウスプロテオミクス(株))

■15:15-15:20 休憩(5分)

■15:20-15:50 レクチャー② (座長:横山明彦)

30. Identifying novel targets for leukemia therapy using functional genomics tools

前田高宏 (まえだ たかひろ) (九州大学大学院医学研究院プレジジョン医療学)

■15:50-15:55 次期世話人の挨拶(指田吾郎)

■15:55-16:00 閉会の挨拶(北林一生)

ご参考まで

空港行きのバスが16:20にサイエンスパーク前の駅を出ます。

★ 鶴岡市内⇒庄内空港 From Tsuruoka to Shonai Airport

停留所	エスモール バスミナル②	鶴岡 駅前⑤	中央工業 団地東口	鶴岡中央 工業団地	サイエンス パーク	イソモール 三川前	庄内 空港着
運賃	800円	780円	720円	720円	720円	330円	
鶴岡発	5:55	5:57	6:00	6:00	6:03	6:13	→ 6:23
	7:27	7:29	7:32	7:32	7:35	7:45	→ 7:55
	10:52	10:54	10:57	10:57	11:00	11:10	→ 11:20
	12:42	12:44	12:47	12:47	12:50	13:00	→ 13:10
	16:12	16:14	16:17	16:17	16:20	16:30	→ 16:40

航空機ダイヤ		
便名	庄内発	羽田着
ANA394便 東京行	7:10	8:15
ANA396便 東京行	8:55	10:00
ANA398便 東京行	12:20	13:25
ANA1072便 東京行	14:15	15:20
ANA400便 東京行	17:45	18:50